

労務ROAD

社長が入れる労災保険のことなら

『葛城経営研究会』

詳しくは、06-6264-6543 まで!

河本社労士事務所

(編集担当:伊藤)

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-9-26 船場ISビル5F Tel:06-6264-6264 Fax:06-6264-6265

仕事と介護の両立アンケート結果について

世界最大の人財サービス企業であるアデコグループの日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社が、**親族の介護に携わった経験のある管理職**(部長職、課長職)600名を対象に、「介護と仕事の両立」についてアンケート調査を実施しました。

〈結果サマリー〉

1. 介護に携わる管理職の47.5%が「退職を考えたことがある」。
介護への関与が大きい管理職の場合は、退職を検討する割合が57.2%に上昇し、離職リスクがさらに高まる結果となりました。
2. 「介護と仕事の両立」に不安を感じたことがある管理職は、77.3%。介護への関与が大きい管理職では、83.3%にのぼる。
「不安」の具体的な内容は、「精神的な負担」(50.4%)が最も高く、続いて「同僚・部下の仕事に影響が出る」(49.8%)、「労働時間が長く、介護に時間を割けない」(47.0%)、「体力的な負担」(42.5%)。
3. 介護を担う部下を持つ管理職のうち、91.9%は部下を支援したいと思っている「ケアボス」志向。
一方、実際に「支援できた」と考える管理職は73.5%で理想と現実で18.4ポイントの開きがある。
「業務量や役割分担の調整が困難」(57.0%)、「プライベートなことなので聞きづらい」(38.8%)といった点が、部下の「介護と仕事」の両立支援における課題となっています。



【アデコ株式会社より】

ハラスメントと暴力に関する実態調査結果

日本労働組合総連合会は、職場やプライベートにおけるハラスメントと暴力に関する実態を把握するため、2017年10月26日～10月27日の2日間、「ハラスメントと暴力に関する実態調査」を、インターネットリサーチにより実施し、全国の18歳～69歳の有職男女1,000名の調査結果を記載致します。

- ・職場でハラスメントを受けた・見聞きしたことがある人は**5割半ば**
- ・配偶者から暴力を受けたことがある 女性では3人に1人以上、男性も4人に1人が経験
- ・交際相手から身体的暴力を受けた人の半数近くが「生命の危険を感じた」と回答
- ・配偶者や交際相手などからの暴力による影響は仕事面にも
“仕事のやる気がなくなる・ミスが多くなる”は4人に1人、“仕事をやめた”は10人に1人



※職場のハラスメントが原因で起こった生活上の変化

「仕事のやる気がなくなった、ミス・トラブルが増えた」が約5割、「仕事をやめた・変えた」は約2割、日常生活にも支障
「心身に不調をきたした」は3割強、「夜、眠れなくなった」は約2割

※配偶者や交際相手などからの暴力による影響は仕事面にも

“仕事のやる気がなくなる・ミスが多くなる”は4人に1人、“仕事をやめた”は10人に1人

※暴力やハラスメントの被害者のために必要な支援

男性では「職場での適切な対応」が最多 女性では「職場以外に相談相手がいること」が最多

※暴力やハラスメントの被害を相談しやすくすると思う公的サービス

「相談に関する安全やプライバシーの確保」「窓口や支援内容の積極的な広報」「身近な窓口の増設」

【日本労働組合総連合会より】